

老年看護学概論	講師：	1 年後期	1 単位（30 時間）
授業の目標 I 老年期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を学び、老年看護の基本と役割を理解する。 II 高齢社会を支える保健医療福祉制度について学び、多職種連携と看護師の役割を理解する。			
授業の内容 <div> <div> 1 老年期にある人の理解 (1) 発達課題からみた高齢者 (2) ライフサイクルからみた高齢者 (3) 加齢に伴う変化 ①加齢と老化 ②身体面の変化 ③精神面の変化 ④社会面の変化 (4) 高齢者の疾病の特徴 </div> <div> 3 老年看護の概念 (1) 老年看護のなりたち (2) 老年看護の特徴 (3) 看護の役割 ①高齢者の尊厳を支える ②自立・自律を支える ③老いのプロセスを支える ④家族を支える ⑤関連職種とのチームアプローチ </div> </div> <div> 2 超高齢社会と社会保障 (1) 高齢社会の統計的輪郭 ①超高齢社会の現況 ②高齢者の暮らしと家族の変化 ③高齢者の健康状態 (2) 高齢社会における保健医療福祉の動向 (3) 高齢者の人権と社会問題 ①高齢者差別 ②高齢者虐待 ③身体拘束 ④高齢者の権利擁護のための制度 </div>			
授業方法 講義 演習 校内実習 高齢者疑似体験 評価方法 筆記試験、レポート			
テキスト 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会			

老年看護学方法論Ⅰ (高齢者の日常生活援助)	講師：	2 年前期	1 単位（30 時間）
授業の目標 加齢による機能低下や健康障害のある高齢者に対して、自立を目指した生活の援助方法を習得する。			
授業の内容 <div><div><div>1 高齢者とのコミュニケーション (1) 高齢者のコミュニケーションの特徴 ・コミュニケーションに影響する要因 (2) 高齢者の特徴をふまえたコミュニケーションの方法 ・補聴器を使用している高齢者</div><div>2 高齢者の生活アセスメント (1) 日常生活動作の評価 (2) 総合機能評価</div><div>3 高齢者の生活行動の援助 (1) 栄養・食事の援助 ① 栄養・食事に影響する要因 ・栄養状態のアセスメント ・摂食・嚥下機能のアセスメント ・食行動のアセスメント ② 食生活の支援 ・摂食・嚥下の援助 ・誤嚥・窒息の予防 ・栄養の管理 ・環境の調整 ③ 摂食・嚥下に障害のある高齢者の援助 ・摂食・嚥下リハビリテーション ・誤嚥予防を考慮した食事の援助</div></div><div><div>(2) 排泄の援助 ① 排泄に影響する要因 ② 排泄の援助 ・排泄リズムの調整 ・自助具の活用 (おむつ、ポータブルトイレ、安楽尿器) ・環境の調整</div><div>(3) 活動・運動の援助 ① 活動・運動に影響する要因 ② 活動・運動の援助 ・移乗・移動 ・転倒・転落の予防 ・環境の調整</div><div>(4) 清潔・衣生活の援助 ① 清潔・衣生活に影響する要因 ② 清潔・衣生活の援助 ・入浴、清拭、陰部洗浄 ・口腔ケア、義歯の取り扱い ・熱傷の予防 ・環境の調整</div><div>(5) 睡眠・休息の援助 ① 睡眠・休息へ影響する要因 ② 睡眠・休息の援助 ・安楽な体位や生活リズムの調整 ・環境の調整</div></div></div>			
授業方法 講義 演習 校内実習 誤嚥予防を考慮した食事介助、義歯の取り扱い 関節可動域制限のある高齢者の衣類交換、おむつ交換、陰部洗浄（モデル）			
評価方法 筆記試験			
テキスト 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術 メヂカルフレンド社			

老年看護学方法論Ⅱ (高齢者の健康障害時の看護)	講師：	2 年前期	1 単位 (30 時間)
授業の目標 高齢者にみられる主要な症状や健康障害のある高齢者及び家族の援助に必要な知識・技術・態度を理解する。			
授業の内容			
<div> <div> 1 高齢者によくみられる身体症状とアセスメント (1) 高齢者のフィジカルアセスメント (2) 高齢者に生じやすい症状と看護 ①廃用症候群 ②脱水 ③掻痒症 ④骨粗鬆症 </div> <div> 4 高齢者に特徴的なリハビリテーションを必要とする健康障害と看護 (1) 健康障害の経過に応じたリハビリテーション (2) 大腿骨頸部骨折を発症した高齢者の看護 ①牽引療法を受ける高齢者の看護 ②手術療法を受ける高齢者の看護 ③骨量低下を予防する看護 </div> </div>			
<div> <div> 2 検査・手術を受ける高齢者の看護 (1) 検査を受ける高齢者の看護 (2) 手術を受ける高齢者の看護 </div> <div> 5 終末期にある高齢者の看護 (1) 終末期にある高齢者の特徴 (2) 安らかな死を迎えるための援助 </div> </div>			
<div> <div> 3 セルフケアの必要な高齢者の看護 (1) セルフケアに応じた看護 ①薬物療法 ②食事療法 (2) 高齢者に特徴的なセルフケアの必要な健康障害と看護 ①高血圧で薬物療法・食事療法を受ける高齢者の看護 ②前立腺がんで化学療法、ホルモン療法を受ける高齢者の看護 </div> <div> 6 健康障害のある高齢者の家族への援助 </div> </div>			
授業方法 講義 演習			
評価方法 筆記試験			
テキスト 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術 メヂカルフレンド社 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (3) 循環器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 (8) 腎・泌尿器 医学書院			

老年看護学方法論Ⅲ (認知機能障害のある 高齢者の看護)	講師：	2年後期	1単位（15時間）
授業の目標 認知機能障害により日常生活に困難を要する高齢者の援助に必要な知識・技術・態度を習得する。			
授業の内容 1 認知機能障害のある高齢者の看護 (1) 認知機能障害のある高齢者の特徴 (2) 高齢者に特徴的な認知機能障害と看護 ①せん妄のある高齢者の看護 ・せん妄症状のアセスメント ・せん妄予防とせん妄時の看護 ②認知症のある高齢者の看護 ・認知症に特徴的な症状 ・認知症診断・治療と予防 ・認知機能の評価 ・パーソンセンタードケア ・認知機能障害に対する看護 ・BPSDに対する看護 ・認知機能障害のある患者の家族への看護 (3) 手術療法及びリハビリテーションを受ける認知機能障害のある高齢者の看護過程の展開 ・加齢や健康障害、治療による生活機能への影響 ・疾患や入院生活が認知機能に及ぼす影響 ・対象の強みを見出し、対象の個性に応じた苦痛緩和や機能回復に関する援助計画			
授業方法 講義 演習 看護過程の展開 評価方法 筆記試験 レポート（手術療法及びリハビリテーションを受ける認知機能障害のある高齢者の看護）			
テキスト 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術 メヂカルフレンド社 系統看護学講座 専門分野 成人看護学（10）運動器 医学書院			